

町村における新型コロナウイルス感染症対策について

青森県町村会

○町村では限られた職員数の中、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る多種多様な支援策を実施・検討

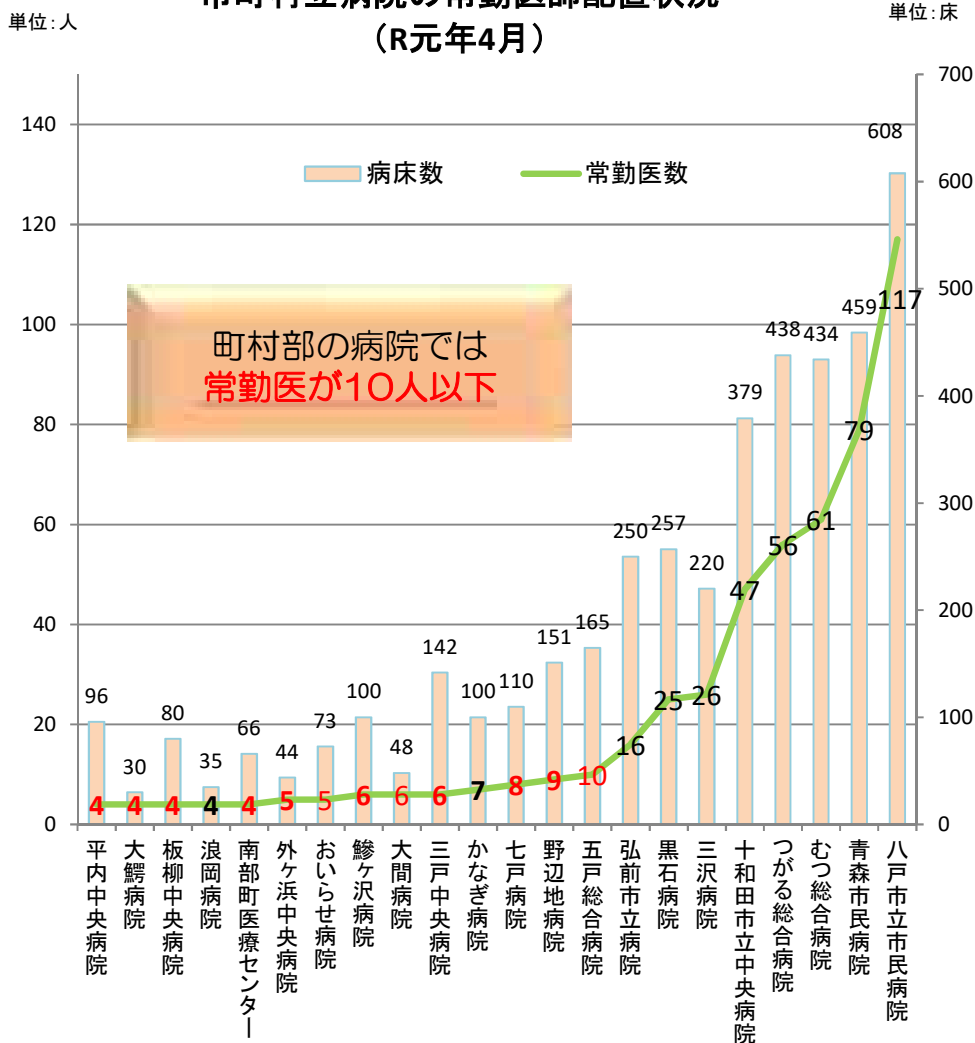
県内町村の主な取組事例（検討中含む）

地域経済支援	飲食業、宿泊業など事業者や農林漁業者への支援金、協力金などの給付	【30町村】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内事業者に一律15万円給付（階上町） ・ 水揚げ金額が前年比3割減となった漁業者を対象に、規模に応じ5～100万円を給付（鱒ヶ沢町）
	地域の飲食店で使用できるプレミアム付商品券などの発行・配布	【20町村】	
	漁業者、建設業者に清掃業務を委託し、作業手当を支給	【2町村】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁協に補助金を交付し、海岸清掃を実施する漁業者に作業手当を支払う。また、建設関連の事業者に側溝の泥上げや路肩の土砂撤去などを業務委託（深浦町）
	内定取消や解雇となった町民を雇用した町内事業者への緊急雇用奨励金の給付	【2町村】	
住民生活支援	生活支援商品券の配布（子育て世帯には上乘せ給付など）	【7町村】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の教職員及び児童生徒に1人1台タブレット端末を購入しオンライン授業等の環境整備（大間町）
	水道料や国民健康保険税、介護保険料などの減免・猶予	【6町村】	
	特別定額給付金の上乗せ給付	【2町村】	
就学世代支援	高齢者世帯の配食見守り、買い物の移動販売支援	【1町村】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学、大学院生、短大生等の保護者に対し、自宅通学は5万円、自宅以外は10万円を給付（三戸町）
	オンライン授業等（GIGAスクール構想）の推進	【12町村】	
	就学生への給付金の給付	【5町村】	
	小中学校給食費の無償化等	【4町村】	
感染防止対策	帰省自粛の学生、家族への特産品、衛生用品などの配布・支援	【2町村】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村出身の学生に村の特産品、日用品、マスク、消毒剤を詰め合わせた「ふるさと学生応援便」を配布（東通村） ・ 帰省を自粛する町外の家族に物資を送る際の送料を町が負担（田子町）
	住民へのマスク配布	【17町村】	
	自治体病院などの医療提供体制の強化	【8町村】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発熱外来の開設や医療用備品等の購入（平内町）
全世帯に健康管理チェック表配布	【1町村】		

医療提供体制の確保等について

○ 町村の自治体病院は、通常時においても慢性的な医師不足や恒常的な赤字など多くの課題を抱えており、今般の新型コロナウイルス感染症により更に厳しい状況となることが想定される。

市町村立病院の常勤医師配置状況
(R元年4月)



新型コロナウイルス感染症により

- 患者急減による減収
- 施設改修、物品購入等による費用の増
- 外来休止等による減収など、自治体病院に財政的影響

【県南地域の自治体病院の例】

令和2年4月の入院収益+外来収益

対前年度比△7,257千円 7.5%の収益減

【今後求められる対策】

- 感染症対策に係る経費を含め、病院経営への財政支援
- 常勤医の少ない町村部の医療機関で医師の感染が確認された場合においても、入院患者の対応等に支障を来すことのないよう、広域的な応援体制の確立

地域経済対策として地元、地域を観光する「マイクロツーリズム」の強力な展開について

青森県町村会

- 飲食業、観光業は客足の減少により、売上が急激に落ち込んでいる
- 小・中学校では、修学旅行の延期や中止、訪問先の変更を検討している

「マイクロツーリズム」とは

- 地元や地域を観光するもの
- 県をまたぐ旅行ではない
- 観光人材の雇用を維持できる
- 地元の方々にもう一度地域の魅力を再発見してもらうことができる



今後求められる対策

- マイクロツーリズムを呼びかける全県的・広域的キャンペーン
- 県内を訪問先とする修学旅行の実施

効果

- 都市部への旅行と比較し感染リスクが抑えられる
- 地域の魅力の再発見
- 若い世代の定住意識の醸成
- 県内観光業の振興

東奥日報
令和2年3月26日 夕刊
掲載

修学旅行延期相次ぐ
県内小中学校、憂る不安